

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010080

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3 国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A	
単位施策	5 地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	給湯設備更新及び外来空調設備設置工事	見直し年度		
事業期間	平成27年度	担当課	14 国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町	関係課	11 町有施設整備室	
事業指標	環境整備すべく院内施設数		#N/A	
事業目標	院内施設数	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	●給湯設備更新及び外来空調設備設置工事 ・給湯設備更新 既存銅管をステンレス管に交換 給湯用循環ポンプの更新(3台) 気水分離機増設(1台) 機械室内一部給水配管改修 衛生器具更新、院内自動水栓混合水栓更 ●外来空調設備設置工事 ・空調設備設置 外科・整形外科・内科診療室、整形外科処置室 外科・整形外科・内科(中待合室) 中央処置室 小児科、耳鼻科、中央処置室、(中待合室 外来ホール			●給湯設備更新 ●外来空調設備設置工事		
	事業費(千円)	63,180	0	63,180	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	63,180		63,180		
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	63,180	0	63,180	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	63,100		63,100		
	その他	0				
	一般財源	80		80		
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】			●給湯設備更新 ●外来空調設備設置工事		
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	100%	100%	
	備考欄					

事業名	給湯設備更新及び外来空調設備設置工事	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	齋藤 康志

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民(外来患者)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	平成15年4月、現病院が開設して以来、配管(銅管)が経年劣化により破損しており、漏水が発生し修繕が必要であること、また外来ホール、各診療科中待合室等について、夏場に30度となる日が続く患者に負担が係ることから、適切な室内温度の調整が求められる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	診察待ちの患者が、安心・快適に受診できる環境を図ることができる	① 給湯設備更新及び外来空調設備設置	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	患者に良質な医療サービスの提供		平成27年度 1施設 1施設 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	給湯設備更新及び外来空調設備設置工事	入札による事業執行	②
			目標年度 目標値 実績値 達成度
			平成27年度 #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	患者が安心・快適に受診できるため、必要な事業である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	患者が安心して治療に専念できる環境づくりができた
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札執行により、事業費の抑制が図られた
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	患者に受益が及ぶため公平性については支障ない
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
給湯設備及び外来空調設備の整備により、安心かつ快適な医療サービスの支援を図ることができた		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
平成27年度の単年度事業であるため事業終了		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止